

令和3年度事業報告

令和2年度第3回理事会（令和3年3月1日に書面決議）で決議された事業計画に基づき、県民の緑化意識の普及・啓発と緑化推進を目的とした諸事業を千葉県・市町村及び関係諸団体の支援を得て実施した。

緑の募金運動をはじめ、一部の事業の実施に新型コロナウイルス感染症の影響が及んだが、感染拡大防止対策の徹底や内容の変更など工夫を凝らし、事業の執行に最大限努めた。

1 緑の募金運動推進事業

1 緑の募金運動

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律（平成7年法律第88号）」（以下「緑の募金法」という。）に基づき、千葉県・市長会・町村会の後援を得て募金運動を実施した。

森林の循環利用を推進するため、運動テーマを「森林を守る、森林を活かす」とし、市町村の協力のもと県下一円で実施した家庭募金・学校募金、また企業・団体等による職場募金など幅広く各層から、目標額3,000万円に対し、2,822万円余の募金が寄せられた。

(1) 家庭募金・学校募金を中心とした募金運動（市町村募金）

家庭募金、学校募金等を中心とする全県的な募金運動となる春季募金期間（3月～5月）は、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意するため、実施期間の延長や秋季募金期間にスライドして実施するなど、市町村と連携した柔軟な対応と県民の理解により募金運動を実施した。

(2) 各種募金の実施

春季及び秋季募金期間（9月～10月）を通して、多様な募金活動を実施した。

特に地球温暖化防止をはじめとする環境問題や、SDGs（持続可能な開発目標）の達成への関心の高まりがあることから、募金運動への参加を広く呼び掛けた。

①職場募金、企業募金、街頭募金

JR、農業・漁業・畜産団体など全国的な組織や、県関係機関等の官公署、各種団体、企業等に幅広く募金協力を依頼した。また山砂採取関係団体、ゴルフ場、飲料水メーカーなどからは大口協力を得た。

②募金箱の設置

誰もが気軽に募金が行えるよう、県庁舎、県民の森、文化ホール等の県立施設や市町村施設をはじめ、道の駅、幕張メッセ、各種店舗、ガソリンスタンド、信用金庫、ゴルフ場等県内企業の協力のもと、きめ細かく募金箱を設置した。

また、木製募金箱の活用を促進し、運動テーマに沿った取り組みを行った。

③多様な募金方法

清涼飲料水自販機の売り上げに応じた募金協力（清涼飲料水販売会社）に代表される、企業活動とのタイアップ募金や、企業のCSRの一環としての募金、チャリティ企画、千葉県マスコット「チーバくん」木製品グッズとのタイアップなど多様な募金方法による協力を得た。

(3) 広報活動

募金運動を周知するため、各種広報活動を行った。

① 掲示物等による広報

チラシの設置・配布、懸垂幕の設置、ホームページ等により募金運動の実施を広くPRした。特にポスター(全国統一)の掲示拡充を、市町村の協力により試行した。

② テレビCM(全国統一)の放映

4月15日～5月14日の間に、15秒スポットCMを当県では千葉テレビ放送で放映した。

③ 緑の羽根の着用

緑化運動のシンボルとして、長年親しまれてきている緑の羽根の着用を呼びかけた。特にNHK、千葉テレビ放送のキャスターによる羽根着用協力は大きなPRとなった。

(4) 募金資材の提供

上記募金運動に必要な諸資材(緑の羽根、ポスター、募金箱等)を準備、提供した。

2 緑の募金の計画及び結果の公告

緑の募金法の定めにより、委員会事務所における掲示のほか、緑の募金計画及び決算報告を新聞(千葉日報)に掲載するとともに、ホームページで公表した。

決算額	6,838,177 円
-----	-------------

2 わたしの街みどりづくり事業

緑の募金を募金者の身近な場所へ事業還元することを目的に、各市町村の重点施策や地域性を生かした緑化の推進並びに森林整備に係る事業に対し事業費を交付し、緑あふれる潤いある街づくりを推進した。

- ・ 実施市町村 54市町村 (詳細は別表)
- ・ 緑化の推進 70件
- ・ 森林の整備 7件

決算額	12,468,095 円
-----	--------------

3 青少年等育成指導推進事業

1 みどりの少年団の育成

(1) みどりの少年団活動助成

24市町村に62団体結成されている本県のみどりの少年団の活動促進を図るため、市町村育成協議会を通じ、各団の活動計画に合わせて活動を助成するとともに、情報誌等活動資料を配付し一層の育成強化を図った。

(2) 千葉県みどりの少年団育成協議会の開催

令和3年4月28日(木)に「ホテルポートプラザちば(千葉市)」において、協議会を開催し、事業計画等について説明すると共に意見交換を図った。

(3) 第41回千葉県みどりの少年団交流集会の開催

コロナ禍における行事様式として、小規模・分散型の体験・交流行事を千葉県との共催により実施し、少年団員が体験を通じ緑についての理解を深めた。

① 行事1 「チャレンジ、樹木博士」

ア 期日 令和3年10月30日(土)

- イ 場所 緑化推進拠点施設（袖ヶ浦市）
ウ 内容 子ども樹木博士制度を用いた自然観察・学習、自然素材を活用した創作活動等
エ 参加人数等 11の少年団(学校)から、親子13組26名
オ 協力団体等 (一社)日本樹木医会千葉県支部、NPO 法人樹の生命を守る会、
NPO 法人千葉県森林インストラクター会

②行事2「木を知ろう、木を使おう」

- ア 期日 令和3年12月4日(土)
イ 場所 千葉県木材市場協同組合（東金市）
ウ 内容 学習会(森林資源の循環利用)、木のおもちゃ遊び、木材市場の見学、木工等
エ 参加人数等 14の少年団(学校)から、親子14組28名
オ 協力団体等 (一社)千葉県木材振興協会、千葉県木材市場協同組合、
千葉県木材利用ネットワーク（もくネットちば）

*行事3「森づくり」は、新型コロナウイルス(オミクロン株)の急拡大により実施を断念した

(4) 令和3年度緑の少年団指導者研修交流会

本年度も緑の少年団全国大会が開催されないことから、代替行事として全国の緑の少年団関係者、指導者を対象とした研修交流会が Youtube を使用したオンデマンド講義として開催された。また締めくくりとなる交流会「グループディスカッション」はオンライン (Zoom ミーティング) で行われた。

- ア 期日 講義配信 令和3年12月上旬～令和4年1月上旬
交流会 令和4年1月17日(月)

イ 内容

- (ア) 森林環境教育の実践とプログラムデザイン
(イ) 地域の森林環境教育の実践と現状
(ウ) コロナ禍でも活動している団体の紹介
(山武市みどりの少年団がインタビュー動画の製作に参加協力した)
(エ) 森林環境教育プログラム運営のためのリスクマネジメント

2 国土緑化運動ポスター原画コンクールの実施

(1) コンクールの実施

千葉県下の小・中学校の児童生徒を対象に、絵を描くことを通じ、緑化意識の普及・啓発を図ることを目的に作品を募集した。

(後援：千葉県、千葉県教育委員会、(株)千葉日報社、協賛：千葉信用金庫)

- ア 参加校 424校 (48市町)

- イ 参加点数 9,380点

- ウ 受賞点数 特別賞12点・特選24点・入選36点・佳作317点・協賛賞3点
入賞合計 392点

(2) 表彰式

令和3年12月17日(金)に「ホテルポートプラザちば(千葉市)」において表彰式を開催した。(様式や対象人数を縮小して実施)

なお、表彰式の模様は千葉日報紙に掲載された。

(3) 全国コンクールへの推薦

入賞作品の中から、特別賞12点のうち10点を公益社団法人国土緑化推進機構主催の

全国原画コンクールへ推薦したところ、次のとおり2名が受賞した。

小学校の部 国土緑化推進機構理事長賞 佐倉市立青菅小学校 4年 杉山葵さん

中学校の部 国土緑化推進機構理事長賞 千葉市立千城台南中学校 2年 堀籠詩織さん

(4) 入賞作品集の配布

コンクールの入選以上の作品75点を掲載した入賞作品集を作成し入賞者、県内の全小・中学校ほかに配布した。

(5) 緑化運動ポスター原画作品の展示

前年度の原画コンクールにおける、優秀作品（特別賞、特選、入選、協賛賞）を下記のとおり展示し、広く県民に鑑賞してもらうとともに緑化運動のPRを図った。

No.	実施月日	展示会場
1	4月6日(火)～4月12日(月)	そごう千葉店
2	4月13日(火)～4月23日(金)	県庁本庁舎・中庁舎連絡通路
3	4月27日(火)～5月9日(日)	県立柏の葉公園
4	6月9日(水)～6月17日(木)	千葉信用金庫(三里塚支店)
5	8月3日(火)～8月29日(日)	県立青葉の森公園

3 樹木ラベル取付け運動

子供たちが樹木名を学び、みどりにふれあう環境を整えるため、小・中学校ほかに間伐材を利用して作成した樹木ラベル計2,700枚を配布した。

なお、学校関係は県内を地区割りして実施しており、令和3年度は葛南教育事務所管内の小・中学校43校（希望校）等に配布した。

4 みどりの教室等の開催

(1) みどりの教室の開催

体験を通して認識力を急速に獲得してゆく幼少児が、日常的に自然や緑に親しみながら成長していくことを期待するため、幼稚園教育関係者等を対象に、それらの指導方法や手法をテーマとした「みどりの教室」を開催した。

ア 期 日 令和3年8月6日(金)

イ 場 所 緑化推進拠点施設（袖ヶ浦市）

ウ 参加人数 15名

エ テ ー マ 遊びを通した自然体験

講師：千葉県自然観察指導員協議会 晝間初枝氏

(2) 自然に親しむ活動

県民が気軽に自然に親しむ機会を創造し、それを通じ、森林、みどりの素晴らしさや重要性について普及啓発を図るため、協力団体とコラボレートした各種行事・講座等下記のとおり実施した。

No.	実施月日	内容、場所、協力団体等	人 数
1	令和3年 8月22日(日) *中止(コロナ)	こども樹木博士認定事業 県立青葉の森公園(千葉市) 日本樹木医会千葉県支部 千葉県森林インストラクター会	—

2	10月23日(土)	森で楽しむ音楽会 囲いやまの森(松戸市) 千葉県自然観察指導員協議会	52名 講師等20名 (演奏者含む)
3	11月6日(土)	リンドウ咲く茂原公園散策会 茂原公園(茂原市) 千葉県自然観察指導員協議会	20名 講師等3名
4	令和4年 2月5日(土)	立春の茂原公園散策会 茂原公園(茂原市) 千葉県自然観察指導員協議会	15名 講師等3名
5	3月5日(土)	春を探しに里山歩き 堂谷津の里(千葉市) 千葉県自然観察指導員協議会	32名 講師等4名

(3) 校外学習の支援

緑化推進拠点施設(袖ヶ浦市)において、校外学習を支援した。

No.	実施月日	対象、内容等	人数
1	令和3年 11月5日(金)	袖ヶ浦市立蔵波小学校 1年生 生活科「秋さがし」	児童170名 教員等10名
2	11月15日(月)	袖ヶ浦市桜ヶ丘幼稚園 学習「自然に親しむ」	園児50名 保育士等5名

(4) 埋立地における樹木調査、研修等の指導

緑化推進拠点施設(袖ヶ浦市)において、樹木調査や研修会等の協力を適宜行った。

(5) みどりの相談

サクラの管理や樹勢診断等の各種相談に、適宜応じた。

決算額	7,915,009 円
-----	-------------

4 緑化等推進整備事業

1 苗木樹木等交付事業

地域農林業振興協議会との連携による行事での配布会や、市町村等からの要望により下記のとおり苗木樹木等を交付した。

No.	実施月日	事業名、配布場所等	樹種名	本数
1	令和3年 11月27日(土)	あびこエコ農産物PRイベント 我孫子市	ブルーベリー、 ブルーベリー	70
2	12月3日(金) ～3月11日(金)	井戸野生活環境保全林 海岸保安林植樹 旭市	クロマツ、マサキ、 トベラ	294
3	令和4年 3月1日(火)	印西市立六合小学校(緑の少年団) 創立150周年記念植樹 印西市	プラタナス	1
合計本数				365

2 緑化広報誌「グリーンえっせんす」の発行

身近なみどりの情報を広く提供する緑化広報誌「グリーンえっせんす」第39号を6,500部発行し、市町村、各団体、県下全域の公立小・中・高等学校及び県民センターや道の駅等に広く配布した。

併せて電子ファイル版をホームページに掲載した。

3 インターネットホームページによる情報提供

インターネットホームページで、法人情報、事業内容、行事案内、森林ボランティア活動や各種緑化に関する情報を提供した。

<アドレス> <http://www.c-green.or.jp/>

4 緑化キャンペーン等の実施

緑の強調月間

4月15日～5月14日(みどりの月間)に、緑の募金運動の懸垂幕、チラシ、ポスター、テレビCM(全国共通)等による広報宣伝等を実施した。

5 緑化関係資料の配付

情報誌「緑の募金だより」及び緑化ポスター、育樹ポスター、各種パンフレット、門松カード等を市町村、各団体、みどりの少年団及び森林ボランティアほかに広く配布した。

6 千葉県さくらの会事務事業

千葉県さくらの会から業務委託を受け、サクラ苗木の配布等の業務を行った。

決算額	5,945,735 円
-----	-------------

5 森林・里山整備等推進事業

1 みどりのサポーター活動

各種緑化活動や森づくりについて、一定の知識や技術を有し実践的な人材として登録されている「みどりのサポーター(のべ登録者:令和4年3月末現在131名)」の組織管理を行い、関連作業や催事、サポート活動などへの参加をコーディネートした。

実績は下記のとおり。

No.	実施月日	内容、場所等	人数
1	令和3年 7月29日(木)	緑化推進委員会(緑の募金)の森 下刈 旭市神宮寺「海岸県有保安林」	3名

2 第三期・県民参加によるみどりの再生事業(県民参加によるみどりの再生事業実行委員会)

津波や松くい虫被害等が甚大な海岸林の再生や放置された竹林、人工林の循環的な利用と整備等を進めると共に、その担い手として期待される森林ボランティアの育成を一体的に推進した。

なお、第三期プログラム(平成30年度～令和2年度の3ヶ年)は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことから、令和3年度の1年間を延長して実施した。

実行委員会事務局を当委員会が担当し、関係機関協力のもと下記のとおり実施した。

*本事業への参加登録者総数は114名

No.	実施月日	内容、場所等	人数
1	令和3年 7月29日(木)	海岸林の下刈作業 旭市神宮寺「海岸県有保安林」	21名 スタッフ等9名
2	8月19日(木)	森林被害について 袖ヶ浦市長浦「緑化推進拠点施設」 *オンライン(Zoom)併用	23名 スタッフ等8名
3	9月11日(土)	学校林整備支援活動(竹林の整理伐) 木更津市畑沢 「波岡小学校に隣接する教育の森」	16名 スタッフ等7名
4	11月19日(金)	海岸林におけるマツ本数調整伐 館山市藤原字平砂浦「海岸県有保安林」	14名 スタッフ等9名
5	令和4年 1月13日(木) *中止(コロナ)	森林管理で役立つロープワーク 袖ヶ浦市長浦「緑化推進拠点施設」	—

3 ちばの森あそび体験事業

千葉県からの委託を受け、市町村が森林環境譲与税を活用して実施を目指す森林ボランティアによる森林保全や森林環境教育を支援するため、市川市と協働した研修会や森あそび行事の実施を試行的に取り組んだ。

(1) 研修会の実施

- ア 期日 令和4年2月2日(水)
- イ 場所 全日警ホール(市川市)
- ウ 内容 森林環境教育の実践方法や森林整備手法等
- エ 参加対象・人数等 森林ボランティアほか22名(事務局、講師等含む)
- オ 講師 千葉県自然観察指導員協議会 晝間初枝氏

(2) 森あそび行事の実施

- ア 期日 令和4年3月20日(日)
- イ 場所 わんぱくの森(市川市)
- ウ 内容 親子が森林空間で、身体、五感を使い8種類のコーナーを体験
- エ 参加対象・人数等 公募した市川市近隣の親子13組36名
- オ 指導等協力 いちかわ森の交流会、わんぱくの森の会ほか多数

4 森づくり支援事業

(1) 作業用具等の貸出し

市町村はじめ、森林整備や里山活動に取り組むボランティア団体、企業や、森林環境学習を行う学校等に対し、当委員会が保有するヘルメット等の安全装備や、鋸、鉋、鋏、ディブル等の専用(作業)用具を、要望に応じ貸出す側面的な支援を行った。

これにより森づくり活動の機会創出や増大に結びつき、森林・里山の持つ役割や意義を普及啓発する活動の推進に繋がった。

(貸出し件数、のべ10件)

(2) 緑化推進委員会(緑の募金)の森

津波や松くい虫被害の甚大な海岸林に、県民、企業、団体等が目を向け、その再生活動に気軽に参加出来るシンボリックフィールドとして千葉県と「法人の森協定」を締結した

海岸県有保安林において、森づくり行事を開催し、参加者と共に保育活動を実施した。

- 第2・緑化推進委員会（緑の募金）の森（旭市神宮寺字浜地先 0.32ha）
- ・活動実績 令和3年7月29日(木) 下刈 参加人数34名
 - ・本年度の新規参加 4企業

(参考) これまでの参加、協力団体等一覧

匝瑳市民、県民参加によるみどりの再生事業参加者、千葉県みどりのサポーター、(株)NTT 東日本一南関東千葉事業部、リンテック(株)千葉工場、林造園土木(株)、ENVIRONMENT SURFBORD & WETSUIT、(株)加瀬造園、(有)石橋造園土木、(株)森林テクニクス、大竹測量設計(株)、(株)ゆたか測量、(株)マルトシ、企業組合千葉県森林整備協会、日本林業士会千葉県支部、千葉県森林インストラクター会、千葉県自然観察指導員協議会、(一社)日本樹木医会千葉県支部、北総里山倶楽部、千葉県山林種苗緑化木協同組合、日本赤十字社千葉県支部、千葉県土地改良事業団体連合会、なえどこ林業女子会@東京、朝生林業(株)、総武造園土木(株)、植忠造園土木(株)、千葉県森林組合、(株)ティー・エス・シー、(有)藤井造園土木、(株)緑栄、木更津木材(株)、四街道市木材業同友会、(株)横芝緑化、(株)畔蒜工務店、(公社)ゴルフ緑化促進会、鈴木土建(株)、青野税理士事務所、(有)アイティオーファーマシー、Prostyle(株)、(株)Kerm、(株)リガード、(有)廣瀬造園、マルコーホーム(株)、(株)キーテック木更津工場、太田(株)、ダイドードリンコ(株)、(株)森林土木施設研究所

決算額	3,350,284 円
-----	-------------

6 全国緑の募金交付金事業

国土の広域的な見地から森林の整備等を推進するとともに、地球温暖化防止等の国際協力等を図るため緑の募金による寄付金の一部を「緑の募金法」に基づき、公益社団法人国土緑化推進機構に交付した。

決算額	1,077,900 円
-----	-------------

7 国土緑化推進事業

1 学校林を活用した森林環境教育促進事業（助成事業）

ボランティア団体等が出前講座等を実施することにより、学校林を活用した森林環境教育の促進を趣旨とする当該事業の募集・調整を行い、助成を受けた実施主体（団体）及び学校の円滑な事業実施のため指導を行った。

なお、当事業は新型コロナウイルスの影響により実施期間を延長申請し、実施している

- ・実施学校 佐倉市立佐倉東中学校
- ・実施主体 佐倉東部地区社会福祉協議会

2 学校環境緑化モデル事業（助成事業）

(株)ローソンによる寄付金を活用し、学校内の緑化や環境教育フィールドの整備を内容とする当該事業の募集、並びに助成を受けた学校の円滑な事業実施のため指導を行った。

なお、当事業の事業期間は令和4年6月末までであり、完了まで僅かな期間を残している。

- ・事業内容 学校林(竹林)の整備、風倒木処理、竹材の利活用、植樹等
- ・実施学校 佐倉市立南部中学校

3 緑の少年団活動促進事業（助成事業）

緑の少年団活動の促進に期する当該事業の募集、並びに助成を受けた少年団の円滑な事業実施のため指導を行った。

- ・事業内容 統廃合した新校の植樹等、環境整備
- ・実施団体 山武市みどりの少年団育成協議会（日向小学校）

4 子どもたちの未来の森づくり事業（助成事業）

（株）ファミリーマートの使途限定募金を活用し、子どもたちの「森の学び」を支援するとともに、森林環境教育のシンボリックなフィールドとなる森づくりの推進を趣旨とする当該事業の募集、並びに助成を受けた団体の円滑な事業実施のため指導を行った。

なお、当事業の事業期間は令和4年6月末までであり、完了まで僅かな期間を残している。

- ・事業名 「森のがっこう」里山再生と木の活用事業
- ・実施団体 子育て支援ステーション ニッセ（千葉市）

5 緑と水の森林ファンド地方事業

地方事業助成金を、青少年等育成指導推進事業（みどりの少年団交流集会の実施及び樹木ラベル取り付け運動）、治山林道事業（普及啓発「千葉県産間伐材木製品の設置」及び森林林業技術講習会の開催）の事業費の一部として充当（活用）し、効果的に事業を実施した。

6 全国学校林現況調査

昭和49年以来、悉皆調査を旨とし、5年毎に実施している全国学校林現況調査を、県、県教育委員会、市町村、市町村教育委員会ほかの協力のもと実施した。

本県の速報値（概要）は以下のとおりであり、全国の集計、詳細な分析等については現在、国土緑化推進機構によって行われている。

- ・学校林保有該当校 42校
（私立学校において、学園単位等で解答のあったものは1校として集計）
- ・学校林総面積 161ha（不明のものは除く）

決算額	2,162,293 円
-----	-------------

8 公共施設等の環境緑化事業

公益社団法人ゴルフ緑化促進会が、県内8のゴルフ場の協力を得て、ゴルファーから募った緑化協力金により、次の2市町の公共施設で植栽工事を行い緑化の推進を図った。

No.	市町村	実施箇所等	樹種名	本数
1	館山市	城山公園梅園	ウメ(白)、ウメ(赤)	22
2	一宮町	一宮海岸	ワシントンヤシ	4
合計本数				26

決算額	2,849,900 円
-----	-------------

9 緑化推進拠点施設管理事業

千葉県からの委託を受け、施設（本館及び付帯施設）並びに緑地等の維持管理を行った。

決算額	4,730,000 円
-----	-------------

10 治山林道事業

1 事業要望活動

治山・林道事業の拡充強化の推進のため、次のとおり要望活動を行った。

- (1) 令和3年7月8日(木)、第42回関東甲信地区治山林道協会連絡協議会において決議された次の要望事項について、関東甲信地区各都県の協会役員等が、令和3年8月26日(木)、林野庁、日本治山治水協会及び日本林道協会に対し実現を要請した。

【治山事業要望事項】

- ア 治山事業の一層の推進と予算の確保
- イ 海岸防災林造成事業の推進と予算の確保
- ウ 小規模事業の円滑な実施を可能とするための採択基準の緩和
- エ 民有林直轄治山事業の推進

【林道事業要望事項】

- ア 林道等の路網整備予算の安定的な確保
- イ 技術者の育成
- ウ 林道施設災害復旧事業、林道改良事業の採択要件の緩和

【共通事項】

- ア 農山漁村地域整備交付金の追加措置と安定的な予算の確保
- イ インフラ長寿命化計画の対策と促進

- (2) 全国治山林道協会会長会議において書面決議された、「林野公共事業(治山事業・林道事業)予算の確保拡充に要する要望」について、当委員会から県選出国會議員に対し支援を要請した。

【要望事項】

ア 「緑の国土強靱化」の推進

- (ア) 「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」により、所要予算を確保
- (イ) 流域治山と連携した流域保全に対応し、治山対策を強化拡充
- (ウ) 山地災害による対応する機動力を強化し、荒廃山地を着実かつ早期に復旧推進
- (エ) 津波に強い海岸防災林を整備するほか、既存治山施設の機能強化対策を推進
- (オ) 山腹崩壊を未然防止するため、予防的な治山対策を強力に推進
- (カ) 流木災害を未然防止するため、溪流沿いでの保安林整備を推進
- (キ) レーザー計測や治山施設の設置等ソフト・ハード対策を一体的に推進
- (ク) 水土保持機能の低下した森林を整備し、災害に強い森林づくりを推進

イ 森林整備の推進

- (ア) 「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」により、所要予算を確保
- (イ) 林道施設被害の早期復旧と「災害に強い丈夫な林道」により、林道の強靱化及び長寿命化を推進
- (ウ) 林道生産の基盤として木材生産コスト低減に繋がる幹線林道等の路網整備を推進

- (エ) 森林整備の低コスト化に向けた路網整備と一体となった森林整備を推進
- (オ) 間伐や再造林の推進による森林吸収源の確保と「緑の国土強靱化」を推進

(3) 令和3年11月24日(水)、2021治山・林道のつどいにおいて決議された林野公共事業予算の拡充に関する決議事項について、当委員会から県選出国會議員に対し支援を要請した。

【要望事項】

- ア 緑の国土強靱化への対応
- イ 治山事業及び林道等森林整備事業予算の拡充など
- ウ 災害に強い林道等の路網整備の強力な推進
- エ 森林吸収源対策の着実な推進

2 森林・林業技術講習会の開催

令和3年12月1日(水)、「ホテルプラザ菜の花(千葉市)」において、森林・林業に携わる技術者等の知識・技術の習得やスキルアップを図るため、「森林・林業技術講習会」を開催し、会員及び県の森林・林業・緑化等の担当者、林業・森林整備従事者等34名が受講した。

(テーマ及び講師)

- (1) 「森林土木工事へのICT導入に向けた林野庁の取組」
講師：林野庁森林整備部計画課施工企画調整室 課長補佐 水野明氏
- (2) 「リモートセンシング技術を用いた森林土木・森林整備事業の効率化」
講師：アジア航測(株) 国土保全コンサルタント事業部 副事業部長 兼森林農業ソリューション技術部 部長 村中亮太氏

3 コンクールの実施

林道の維持管理や治山・林道工事の施工技術の向上を目的に林道維持管理及び治山・林道工事コンクールを実施し、下表のとおり最優秀賞・優秀賞を選定した。

最優秀賞については、日本治山治水協会及び日本林道協会が行う全国コンクールに推薦した結果、日本治山治水協会会長賞を受賞し、令和3年11月24日(木)、「海運クラブ(東京都)」で開催された表彰式において表彰された。

区分	千葉県コンクール		全国コンクール
治山工事 (第37回)	最優秀賞	予防治山工事(岬町鴨根) 施工者：池田建設株式会社	日本治山治水 協会会長賞
	優秀賞	予防治山工事(篠本) 施工者：萩原土建株式会社	
治山木材使用 (第22回)	優秀賞	県単林地荒廃防止施設災害復旧工事(剃金) 施工管理者：千葉県北部林業事務所	

4 普及啓発

(1) 千葉県産間伐材使用木製品の設置

治山事業等が地球温暖化防止や山地災害防止など、森林の持つ公益的機能の維持増進に果たす役割は大変重要であることから、治山事業をPRするプレートを取り付けた千葉県産間伐材利用の①足踏式・消毒ポール9台、②長椅子4台を会員市町村の公共施設等に配布・設置し、普及啓発を図った。

(2) 広報誌・参考図書等の配布

- ① 治山林道広報（日本治山治水協会、日本林道協会発行）
- ② 月刊誌「治山」（治山研究会発行）
- ③ 月刊誌「林道」（林道研究会発行）
- ④ 治山林道必携[積算・施工編]（日本治山治水協会、日本林道協会発行）
- ⑤ 治山林道必携[調査・測量・設計編]（日本治山治水協会、日本林道協会発行）
- ⑥ 民有林治山事業及び保安林制度のあらまし（日本治山治水協会発行）
- ⑦ 民有林森林整備事業の概要（日本林道協会発行）

(3) 山地災害防止キャンペーンの一環として日本治山治水協会が行う令和3年度山地災害防止標語及び写真コンクールについて、会員市町村を通じて各学校等にお知らせし、山地災害防止への理解を深めた。

標語コンクールには当県から674件の応募があり、次の2作品が入賞した。

- ・優秀賞(会長賞) 「つなげよう 治山治水の 知恵と技」
自由業 掘 卓さん
- ・優秀賞(会長賞) 「山鳴りだ 命おしくば はよ走れ」
市川市立宮久保小学校 6年 佐々木碧羽さん

決算額	8,221,295円
-----	------------

1.1 林業労働力確保支援センター事業

林業労働力の確保の促進に関する法律（平成8年法律第45号）第11条に基づき当委員会が林業労働力確保支援センターの指定を受け、林業就業支援事業等を実施し、林業労働力の確保の促進に関する情報の提供、林業への就業相談、雇用改善に関する研修等の業務を実施した。

1 「緑の雇用」新規就業者育成推進事業・OJT研修監督検査業務

全国森林組合連合会の業務委託を受けて認定事業体が行う新規就業者への実施研修の実施状況等の監督・検査業務を行った。

- ・「緑の雇用」実施事業体 12事業体(8事業体、県森林組合2支所2事業所)
- ・監督・検査業務実施回数 40回

2 経営合理化研修事業

次の林業事業体の雇用管理改善に関する支援業務と就業希望者に対する相談業務を、年間を通して行った。

- ・林業事業体の訪問指導 12事業体(8事業体、森林組合2支所、2事業所)
- ・外部コンサルタントによる林業事業体の合理化診断 (2事業体)
- ・経営体等を対象とした経営改善のための研修会 (2回開催)
- ・林業労働に関する求人者や林業事業体に対し、求人・求職の情報提供を実施した。

(1) 林業就業者技能研修

① 「安全作業の徹底と労働生産性の向上」研修会

令和3年12月10日(金) 千葉県木材市場協同組合2階 大会議室(東金市)
講師 (株)フォレストミッション 代表取締役(中小企業診断士)坪野克彦氏

②「ちばの木の生産と利用」研修会

令和3年12月10日(金) 千葉県木材市場協同組合(東金市)

講師 千葉県木材市場協同組合 常務理事小安司氏、理事兼統括部長土肥和宏氏

3 就業円滑化支援事業

林業未経験の就業希望者を対象に体験会を行い林業に関する知識や技術(資格)を身につけるための講習会を実施し、併せて県内の林業事業者との面談会を開催した。

(1)「林業基礎知識講習会の実施」23名の応募があり16名が参加

令和4年1月24日(月)から令和4年2月11日(金)まで(延べ15日間)

場所:千葉県森林組合南部支所 植畑研修室

君津市法木作(君津市有林内現地)

緑化推進拠点施設 大研修室 ほか

講師:千葉県森林組合連合会 木村正敏氏

千葉県森林組合 小林哲也氏ほか

(2)「就業希望者と事業者のマッチング」令和4年2月11日(金)

場所:緑化推進拠点施設 大研修室ほか

7事業者(千葉県森林組合ほか6事業者11名)

4 地域型森林管理担い手育成支援事業

「森林・林業研修、安全講習研修」

地域の森林管理の担い手として、自伐林家組織や専門性の高い森林整備活動を行うNPO等の育成・支援を行うことで森林経営に適さない森林の適正な管理を推進するため、森林管理に必要な知識技能研修を森林整備を志す県民、自伐林家等を対象に行った。

(1) 基礎研修:令和4年1月28日(金)、2月15日(火)計2日間

(講義2日間はコロナ対策のため中止)

場所:千葉市若葉区御殿町

講師:千葉県森林組合連合会 木村正敏氏、千葉県森林組合 小林哲也氏

千葉県森林インストラクター 鶴見治氏

(2) 応用実践研修

①「安全講習」令和4年2月18日(金) 10:00~15:00

場所:ホテルプラザ菜の花 4F棟(千葉市中央区長洲) Zoom会議併用

講師:(株)フォレストミッション シニアコンサルタント 横山繁樹氏

講師と会場及びオンライン参加者による安全講習会を開催した。

②「応用研修」(技能研修・実習) 令和4年2月24日(木)、25日(金)

場所:印西市和泉町地内

講師:千葉県森林組合連合会 木村正敏氏、千葉県森林組合 小林哲也氏

指導員:千葉県森林組合 松本直樹氏、白川定美氏

千葉県指導林家 岩井誠氏

(3)「市町村による森林管理の担い手のあり方」検討会議の開催

森林経営管理法に基づく林業経営に適さない森林の管理を進めるための多様な担い手のあり方について、森林整備に取り組む自伐林家、NPO法人の代表者をパネラー

として意見発表を行い、市町村担当者と意見交換を会場とオンライン参加者による会議を開催した。

令和4年2月2日(水) 午後1時30分から

場所：緑化推進拠点施設 大研修室（袖ヶ浦市長浦）Zoom 会議併用

パネラー 千葉県林業研究グループ連絡協議会 会長 岩井 誠氏
木の駅プロジェクトおおたき実行委員会 副会長 小高康熙氏
NPO 法人ちばの森づくりの会 理事長 林 隆通氏
里山むつみ隊 代表 佐藤孝之氏
NPO 法人手賀沼森友会 理事長 齋藤 仁氏

5 その他

林野庁、千葉県森林課、全国森林組合連合会、千葉県森林組合連合会、千葉労働局及び各都道府県林業労働力確保支援センター等と連携し、上記業務に付随する業務を行った。

決算額	12,517,108 円
-----	--------------

1.2 千葉県緑化基金事業

「千葉県緑化基金」を管理し、運用益を緑化推進等の事業に充当した。

基金名	積立額
千葉緑化基金	218,108,859 円

1.3 会議

1 総会（3回）

(1) 定時総会を令和3年6月21日(月)、「ホテルプラザ菜の花（千葉市）」において開催した。

報告事項

ア 令和2年度事業報告について

イ 令和3年度事業計画並びに収支予算について

議事

ア 令和2年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録（付属明細書含む）について

イ 令和3年度会費の賦課及び徴収について

ウ 令和3年度役員報酬の決定について

エ 役員を選任について

就任理事 舘野昭彦、長谷川孝夫、西野文智

就任監事 飯島勝美、本澤規儀、本吉久雄

退任理事 穴澤幸男、亀田郁夫、白石勇一

感謝状の贈呈

千葉県緑化基金感謝状 (株)袖ヶ浦カンツリー倶楽部、
(一社)千葉県LPガス協会青年委員会

緑の募金感謝状 千葉信用金庫、千葉出光会、ダイドードリンコ(株)、
千葉県中部山砂事業協同組合、千葉県交通安全施設業協同組合、

(一社)全国道路標識・標示業協会関東支部千葉県協会、
(株)合同資源千葉事業所、タンポポ産業(株)、ヒラノ商事(株)、
早野商事(株)、(株)兼子、(株)サンエイロテック、
東海マテリアル(株)

治山林道事業功績者表彰 令和2年度民有林治山工事コンクール
最優秀賞 萩原土建(株)
優秀賞 (株)山田緑地建設
優秀賞 佐久間建設(株)
令和2年度民有林治山木材使用工事コンクール
最優秀賞 千葉県北部林業事務所森林管理課

(2) 臨時総会(書面議決)

提案日 令和3年8月24日(火)、決議日 令和3年9月3日(金)

議 事

ア 役員を選任について(理事辞任による補充)

就任理事 松下浩明、小池正男、高梨義宏、中元広之、
退任理事 林和雄、吉岡實、勝山満、萩原博

(3) 臨時総会(書面議決)

提案日 令和4年3月10日(木)、決議日 令和4年3月25日(金)

議 事

ア 役員を選任について(監事辞任による補充)

就任監事 小高陽一
退任監事 飯島勝美

2 理事会(5回)

(1) 第1回理事会を令和3年5月24日(月)、「ホテルプラザ菜の花(千葉市)」において開催した。

議 事

ア 令和2年度事業報告並びに貸借対照表、損益計算書及び財産目録(付属明細書含む)
について

イ 役員候補者の選出について(理事辞任による補充及び監事の任期満了による改選)

ウ 特定資産取得・改良資金の保有について

エ 表彰者の選考について

オ 令和3年定時総会の期日及び提出議案について

カ 委任状について

報告事項

ア 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

イ 緑化基金の運用について

(2) 第2回理事会を令和3年6月21日(月)、「ホテルプラザ菜の花(千葉市)」において開催した。

議 事

ア 専務理事の互選について

専務理事：西野文智
以上のとおり互選された

(3) 第3回理事会（書面決議）

提案日 令和3年8月5日（木）、決議日 令和3年8月18日（水）

議 事

- ア 役員候補者の選出について（理事辞任による補充）
- イ 令和3年度臨時総会の決議の省略及び提出議案について

(4) 第4回理事会（書面決議）

提案日 令和3年9月7日（火）、決議日 令和3年9月17日（金）

議 事

- ア 副理事長1名の選定について
副理事長：松下浩明
以上のとおり選定された

(5) 第5回理事会（書面決議）

提案日 令和4年2月25日（金）、決議日 令和3年3月10日（木）

議 事

- ア 令和3年度収支補正予算について
- イ 令和4年度事業計画並びに収支予算について
- ウ 令和4年度会費の賦課及び徴収について
- エ 令和4年度借入金の最高限度額の決定について
- オ 取引金融機関について
- カ 諸規程の制定及び改正について
- キ 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- ク 令和4年度定時総会の期日及び提出議案について
- ケ 役員候補者の選出について（監事辞任による補充）
- コ 令和3年度臨時総会の決議の省略及び提出議案について
- サ 正会員入会の承認について

3 緑の募金運営協議会（2回）

- (1) 第1回緑の募金運営協議会を令和3年5月20日（木）、「ホテルプラザ菜の花（千葉市）」において開催した。

議 事

- ア 令和2年度緑の募金事業報告及び収支決算について
- イ 答申について

- (2) 第2回緑の募金運営協議会を令和4年2月15日（火）、「ホテルプラザ菜の花（千葉市）」において開催した。

議 事

- ア 令和4年度緑の募金目標額について
- イ 令和4年度緑の募金による事業計画並びに収支予算について
- ウ 緑の募金事業実施規則について
- エ 答申について

4 監査会（1回）

令和3年5月14日（金）、「当委員会事務所（袖ヶ浦市）」において開催した。

監査事項

ア 令和2年度事業報告並びに財務諸表について

イ 会計処理状況について

5 本委員会が出席した会議等（全国会議、ブロック会議）

年月日	会議等の名称	開催場所
令和3年		
5.29	第71回全国植樹祭(島根県)	三瓶山北の原
7.8	関東甲静地区治山林道協会連絡協議会第42回通常総会(群馬県)	喜びの宿高松
8.25	令和3年度全国緑の少年団連盟財務監査	砂防会館別館
8.26	令和3年度全国緑化推進委員会連絡協議会総会	オンライン
8.26	令和3年度全国緑の少年団連盟理事会	オンライン
8.26	令和3年度全国緑の少年団連盟総会	オンライン
8.26	関東甲静地区治山林道協会連絡協議会常勤役員会議	永田町ビル
9.15	日本治山治水協会令和3年度定時総会	ルポール麴町
11.10	令和3年度関東地区緑化推進協議会(埼玉県)	ロイヤルインズホテル浦和
11.24	日本林道協会令和3年度理事会	海運クラブ
11.24	日本林道協会令和3年度通常総会	海運クラブ
11.24	2021治山・林道のつどい	海運クラブ
11.24	令和3年度治山・林道コンクール表彰式	海運クラブ
11.26	森林整備・治山事業促進議員連盟緊急決起大会	自由民主党本部
12.14	令和3年度全国緑化推進委員会連絡協議会全体会議	オンライン
令和4年		
1.17	緑の少年団指導者研修交流会	オンライン

	以下、新型コロナウイルスの影響等により中止、 書面決議等とされた会議等	
	国土緑化推進機構令和3年度定時総会	委任
	第44回全国育樹祭(北海道)	県外参加者は不参加
	日本治山治水協会令和2年度第5回理事会	書面
	日本治山治水協会令和3年度第1回理事会	書面
	令和3年度全国治山林道協会会長会議	書面
	全国林業労働力確保支援センター協議会総会	書面
	関東地区林業労働力確保支援センター連絡会議	中止